

第30回常民大学合同研究会記念講演会（11/12）参加申込書（10/31ㄨ切）

FAX 0538(66)4775

Eメール ngr224-316@gol.com

	氏名	住所（市区町村名までで構いません）	電話番号（代表の方のみで構いません）
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

11月12日（土）

13:00 受付

13:30 開会

13:35 基調提案

名倉慎一郎（遠州常民文化談話会代表）

14:00 記念講演

野本寛一先生

（近畿大学名誉教授・文化功労者）

「この国の方途をさぐる

—山のムラで学んだことから—

15:00 休憩

15:15 民話の語り

山姥の会（佐久間町）

15:30 シンポジウム

高橋寛治（飯田柳田国男研究会）

久保田宏（鎌倉柳田学舎）

大石 龍（遠州常民文化談話会）

中山正典（遠州常民文化談話会）

大島たまよ（遠州常民文化談話会）

コーディネーター／平野斗紀子

（遠州常民文化談話会）

17:00 まとめ

小田富英（常民大学合同研究会運営委員）

17:15 閉会

野本寛一（のもと・かんいち）

1937年静岡県生まれ。文学博士（筑波大学）。日本民俗学専攻。

近畿大学名誉教授。2015年文化功労者。著書に『稲作民俗文化論』（雄山閣）、『生態民俗学序説』（白水社）、『神々の風景—信仰環境論の試み—』（白水社）、『海岸環境民俗論』（白水社）、『民俗誌・女性の一生—母性の力』（文春新書）、『地霊の復権—自然と結ぶ民俗をさぐる』（岩波書店）、『自然と共に生きる作法 水窪からの発信』（静岡新聞社）、『季節の民俗誌』（玉川大学出版部）など多数。

遠州常民文化談話会

日本民俗学の父といわれる柳田国男の著作や、郷土の先人が遺した『土のいろ』などをテキストとして、今は亡き後藤総一郎先生（元明治大学教授）が提唱した、「身銭主義」「生活者の学び」の教えを受け継ぎながら、地域の歴史や民俗文化を学ぶ。これまで、磐田市誌『天竜川流域の暮らしと文化』編集に参画、『見付次第／共古日録抄』を編集発行、ここ数十年は近畿大学名誉教授の野本寛一先生のご指導を賜りながら、2012年には会員による水窪地域の民俗調査報告書『水窪の民俗』を刊行、現在は佐久間地域における民俗調査に取り組み中。

●会場へのアクセス●

【電車・バス利用】浜松で遠鉄西鹿島線に乗換、西鹿島で遠鉄バス北遠線に乗換、西渡でふれあいバスに乗換、協働センター下車

※ふれあいバスは土曜日は予約が必要

【車利用】東名浜松 I.C か、新東名浜松浜北 I.C より、国道152号線を天竜川に沿って北上、西渡より国道473号線を西に向かう。大井橋を渡って約15分